

1. どのような課題があったか

1. 店舗内機器（POS、多機能情報端末、複合機等）それぞれ違ったメーカー、リース会社の機器をExcelで管理。
2. 新規出店や店舗閉鎖、改装等で頻繁な移動に対応が追いつかなくなった。
3. 会計システム内資産管理機能では店舗管理運営チームでの運営ができない。
4. 故障原因や修理の的確な把握ができてなく業者の言われるままになっている。
5. リース資産や預り資産が的確に管理できない。

2. どのように問題解決したか、選ばれた理由

1. 最大の理由は、常に全資産の所在場所及び移動の把握ができる唯一のシステムである。
2. オペレーションが簡単(クリックのみ)で、オペレーションに負荷がかからない。
3. 閉店による機器を借り倉庫で保管しているが、他店への再利用、保管点数の適正化ができるシステム。
4. 今後、店舗増大しても現有体制で管理可能なシステムであること。

3. どのような効果が出たのか

1. 従来の管理運営チームの負荷が大幅に削減された。
2. 機器の再利用促進で新規調達コスト及び保管費用を大幅削減。
3. 台風による店舗水害で適切な保管情報の実現により早期対応が経営者から評価された。
4. 新機種入れ替え時(バージョンアップ等)の計画が的確な管理でスムーズに進んだ。

4. 補足

多店舗展開の事業者は店舗閉鎖、新規開店は常識であり、店内機器の再利用はコスト削減の大きな要因の1つである。機器の導入方法、時期、機能も様々で機器のローテーションは機器のバージョンの違いや新規入替え計画の的確な対応に大きな問題を抱える。

KALOC S の個別機器管理、内部部品管理機能はあらゆる移動にあっても的確な管理を実現させ、機器の再利用にも対応可能となる。

コンビニエンス・ストアの店内機器運用イメージ

